

NPO法人



2019年 6月10日

第 42 号

Jomon Shiba



特定非営利活動法人

縄文柴犬研究センター

もくじ	1
総会報告 理事会・総会の議事録(要旨)	2
2018(H30)年度の事業報告	4
平成30年度 会計収支決算書	5
2019年度(H31)の事業計画	6
2019年度(H31) 予算書	7
理事会・総会に参加して ☆秋田県 高橋 務	8
☆広島県 向井亮太	9
お便りコーナー ☆鹿児島県 宮田元美	10
☆広島県 岡村智鶴	11
☆広島県 池田臣省 ☆「良子」の近況 No.24 富山県 竹内誠	12
☆私流の「ドッグフード」の利用・活用法 秋田県	13
SNS に投稿された内容の一部を拾い編集し紹介します	15
43号(9/10)より編集長を引き継ぎます。広島の柳楽 倫です。 ☆広島県 柳楽 倫	18
事務所報告 ☆新入会 ☆会費 ☆寄附金 ☆寄贈 ☆登録(犬舎・仔犬)	20
☆血統登録について ☆諸料金一覧	14



次号より、編集長は五味から柳楽氏に変わります。今まで同様、暖かいご支援をお願い申し上げます。

尚、原稿の締め切りは、7月25日とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

原稿の送付先・〒739-2205 広島県東広島市河内町戸野599 柳楽 倫(Tel 070 4422 2059)まで

・会費や寄附などをお寄せいただいた方の氏名・県名を掲載させていただきますが、匿名を希望される場合は、お知らせください。

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

郵便振替口座 : 02280-2-106951

会事務所 : 〒014-0073 秋田県大仙市内小友字堂ノ前119番地5 ☎0187-68-2976

<http://www.j-shibainu.sakura.ne.jp/> encounter_shiba@jomon-shiba.sakura.ne.jp

理事会・総会の議事録(要旨)

理事会

日時：2019年4月20日(土) 13:00～15:00
 場所：宮城県白石市 白石湯沢温泉やくせん
 出席：橋理事長、他理事5名、
 他会員3名オブザーバー参加
 審議事項：総会提出議案すべてについて報告を受け討議し、修正意見を受け入れて総会議案とすることを確認した。

総会

日時：2019年4月20日(日) 15:10～18:00
 場所：宮城県白石市 白石湯沢温泉やくせん
 出席：橋理事長、他理事5名、会員3名、会員家族傍聴者2名。
 委任状：竹内誠一他50名
 出席及び委任状数の合計60名
 総会運営任務分担：書記：土井鐵徳
 議事録署名員：五味靖嘉、相澤重美
 *総会開会に当たり、橋理事長より「縄文柴犬研究センターの活動は研究、保存活動の両面で毎年発展してきており、今後も多くの会員と力を合わせて活動の充実を図っていきましょう。」という旨の挨拶がありました。

総会決定事項

橋 理事長

1. 2018年度事業報告、2018年度収支決算書、2019年度事業計画、2019年度予算書は提案通り、全員の同意で採択した。



2. 2018年度事業における特筆事は次の通りである。

① 獣医師のアドバイスによりJSRCとの共同による「皮膚病に関するアンケート」を実施した。

その結果、69頭が参加して詳細なデータを得ることができた。皮膚病になった犬は11頭でダニ媒体とする後天的な理由が5犬、その他は食物アレルギーと思われるもの、カビ感染と思われるもの等の後天的な理由であった。一般論としたシバイヌは先天的に皮膚病になりやすいと思われている傾向があるが、縄文柴犬に関してはそのような結果は得られなかった。(会誌40号で詳細に報告)

② 縄文柴犬の毛根からmtDNA抽出による遺伝子分析が岩手大学にて実施された。遺伝子分析・研究については更に多角的に研究を進めて行く事になっている。



会議風景

↓総会・理事会記念撮影(懇親会前に)



③ 広島県研究センターが開設された。複数の会員が協力して研究と繁殖活動を行える環境が整ってきたからである。今後は必要となる法的整備を含め活動していく。

④ 前年度に確認した通り改定した定款を登記した。
第2章目的及び事業、[目的]第3条に「平和」を追加。

2. 2019年度事業における特筆事項は以下のとおりである。

① 縄文柴犬研究センターの事務局機能を広島研究センターに移していく。また、登記、定款変更等に必要となる法的整備の準備も行っていく。広島研究センターが担ってきている血統書発行を継続するとともに、同センターで血統登録整備、系統管理整備を進めていく。

② 縄文柴犬の研究を更に進めていく。

- ・ 縄文柴犬の遺伝子研究を更に多角的に進めていく。
- ・ 獣害に対する縄文柴犬の活用の研究を更に進める。

③ 縄文柴犬研究センターの主催、又は共催で講演会を開催する。

内容は、テーマ①「日本の犬の歴史(仮題)」京都大学名誉教授:茂原信生先生。テーマ②「縄文時代の狩猟(仮題)」東京国立博物館客員研究員(考古学):金子浩昌先生(茂原先生、金子先生は内諾済み)時期は来年6月以

前を予定し、会場も含め準備は土井副理事長が中心となって担当する。

④ NPO 法人から認定 NPO 法人への移行を検討していく。そのため、定款の改定や寄付金額の増大、縄文柴犬の里親無償貸与とそれに必要な飼育教育を一貫したものとしてとらえて検討していく。

補足一 (五味)

(事務局分散と移転計画の経過)

2016年より、JSRCの緊急な課題として、五味に集中した業務の分散化が最重要課題と確認した。

2017年度はその分散化が後退した。(総会内容が理解されずに一部頓挫した。)

2018年度から役員を補充し、業務分担が順調に進展している。

JSRCの未来展望は、若い会員・熱意ある次世代に、活躍の場を与え、伸び伸びと活動できるように理事をはじめ多くの会員が力強い支援をして行くことで開かれる。又、役員は総会の決定と定款の理念を実践していくため学び合い、協力し合うとともに、会員との双方向による理解を深める努力が求められている。それらを実践することがJSRCの優先事項である。

2018(平成30)年度の事業報告書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

1 事業の成果

縄文柴犬の研究や保存・普及に関する事業を行い、動物愛護の精神に則り、平和で心豊かな人と犬との共存社会を育むことに寄与した。また環境の保全や科学技術の振興、社会教育の推進活動にも成果を納めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (c) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
1. 縄文柴犬に関する各種の研究及び地域社会への普及に係る事業	会誌 38号発行 会誌 39号発行 会誌 40号発行 会誌 41号発行	(A) 2018.06.10 2018.09.10 2018.12.10 2019.03.10 (B) 秋田県大仙市 (C) 7~25名	(D) 全国 (E) 400人	500
2. 縄文柴犬の繁殖管理及び飼育(里親としての育成・管理を含む)に係る事業	HPや新聞広告の活用 会誌の活用	(A) 随時 (B) 秋田・宮城・広島 (C) 10名	(D) 全国 (E) 不特定	50
3. 縄文柴犬犬籍の整備及び柴犬血統書の発行に係る事業	血統書の発行事務所の設置	(A) 随時 (B) 秋田→・広島 (C) 3名	(D) 会員・一般 (E) 400人	20
4. 縄文柴犬に関する審査及び指導員等の育成に係る事業	交流会及び学習会 JSRCの初級テキスト作成	(A) 2018.6・10・11 (B) 石川県・広島県・秋田 (C) 20・3名・2名	(D) 一般・会員 (E) 不特定	10

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
(1) 環境の保全を図る活動	研究報告(会誌)	(A) 継続10年目 (B) 秋田~岩手 (C) 4名	20
(2) 科学技術の振興を図る活動	標本の分析整理 縄文柴犬の遺伝子研究 皮膚病に関するアンケート調査 繁殖データ整理(着手)	(A) 継続9年目 (B) 全国 (C) 100名	50
(3) 社会教育の推進を図る活動	広島県・縄文柴犬について 訪問交流活動 2020年度100名規模講演会企画	(A) 月1回 (B) 広島県 (C) 3~10名	22
(4) その他	出版準備(仮称JSRC資料集) 2012.9より着手	(A) 継続8年目 (B) 秋田県 (C) 10名	20

平成30年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

科 目	金 額	(単位:円)
I 収入の部		
1 会費・入会金収入		
入会金収入	7,000	
年会費収入	395,000	
		402,000
2 財産運用収入	2	2
3 事業収入		
犬舎・犬籍簿事業	26,000	
保存協力金	70,000	
		96,000
4 寄付金		
寄付金	136,600	
		136,600
当期収入合計(A)		634,602
前期繰越収支差額		1,121,019
収入合計(B)		1,755,621
II 支出の部		
1 事業費		
研究・普及事業	145,803	
製本印刷費	476,894	
広告費	3,500	
		626,197
2 管理費		
通信運搬費	98,813	
事務消耗品費	26,176	
事務経費	9,904	
		134,893
3 予備費		
予備費	0	
		0
当期支出合計(C)		761,090
当期収支差額(A)-(C)		-126,488
次期繰越収支差額(B)-(C)		994,531

会 計 監 査 報 告 書

会 計 監 査 報 告 書

平成30年度特定非営利活動法人縄文柴犬研究センターの会計全般について監査をおこなったところ、適正かつ正確に処理されていると認めます。

平成30年度特定非営利活動法人縄文柴犬研究センターの会計全般について監査をおこなったところ、適正かつ正確に処理されていると認めます。

平成31年4月20日

平成31年4月20日

特定非営利活動法人縄文柴犬研究センター

特定非営利活動法人縄文柴犬研究センター

監 事 渡部義広



監 事 竹内誠一



2019(令和1平成31)年度の事業計画

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

(1) 事業の成果

縄文柴犬の研究や保存・普及に関する事業を行い、動物愛護の精神に則り平和で心豊かな人と犬との共存社会を育むことに寄与する。また環境の保全や科学技術の振興、社会教育の推進活動にも取り組む。

(2) 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (c) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の 金額(単 位:千円)
1. 縄文柴犬に関する各種の研究及び地域社会への普及に係る事業	会誌42号発行 会誌43号発行 会誌44号発行 会誌45号発行	(A) 2019.06. 10 2019.09. 10 2019.12. 10 2020.03. 10 (B) 秋田県→広島県 (C) 10~25名	(D) 全国 (E) 400人	450
2. 縄文柴犬の繁殖管理及び飼育(里親としての育成・管理を含む)に係る事業	HPや新聞広告の活用 会誌の活用 事務所の移転	(A) 随時 (B) 未定 (C) 5~10名	(D) 全国 (E) 不特定	120
3. 縄文柴犬犬籍の整備及び柴犬血統書の発行に係る事業	血統書の発行	(A) 随時 (B) 広島・秋田 (C) 3名	(D) 会員・一般 (E) 400人	50
4. 縄文柴犬に関する審査及び指導員等の育成に係る事業	交流会及び 小規模勉強会	(A) 2020.06 (B) 宮城県・広島県・秋田 (C) 30名	(D) 一般・会員 (E) 不特定	50

(2)その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の 金額(単 位:千円)
(1) 環境の保全を図る活動	研究報告(会誌)	(A) 継続11年目 (B) 秋田・広島 (C) 5名	10
(2) 科学技術の振興を図る活動	標本の整理・研究報告(会誌) 繁殖データのまとめ・研究	(A) 継続10年目 (B) 秋田・広島 (C) 4名	20
(3) 社会教育の推進を図る活動	・講演会 ・訪問交流活動 ・中級・上級テキスト準備	(A) 2020 (B) 未定 (C) 100名	250
(4) その他	出版準備(仮・JSRC資料集)	A) 継続9年目 (B) 秋田県 (C) 10名	650

2019年 (令和1・平成31) 年度 予算書
平成31年 4月 1日から 令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター
(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	500,000		500,000
入会金収入	100,000	0	
会費収入	400,000	0	
2 寄附金	300,000	0	300,000
3 事業収入	70,000	50,000	120,000
1 縄文柴犬に関する各種の研究、及び 地域社会への普及に係わる事業。	10,000		
2 縄文柴犬の繁殖管理、及び飼育(里親と しての育成・管理を含む)に係わる事業。	20,000	50,000	
3 縄文柴犬犬籍簿の整備、及び柴犬血 統書の発行に係わる事業。	20,000		
4 縄文柴犬に関する審査及び指導員等 の育成に係わる事業。	10,000		
5 その他、本法人の目的を達成するた めに必要な事業。	10,000		
4 補助金等の収入	0	0	0
当期収入小計	920,000	50,000	970,000
前期繰越収支差額			994,531
当期合計 (A)			1,964,531
II 支出の部			
1. 事業費			
(1) 人件費	0		
(2) 会議費	20,000		
(3) 研究・普及費 (広告)	180,000	30,000	
(4) 製本印刷費(会誌)	390,000		
(5) 審査育成・研究費		50,000	
事業費計	590,000	80,000	670,000
2. 管理費			
(1) 通信運搬費	100,000		
(2) 事務消耗品費	60,000	50,000	
(3) 事務経費	20,000	150,000	
(4) 旅費交通費	0	200,000	
管理費計	180,000	400,000	580,000
3. 予備費			
出版積立金		650,000	650,000
PC積立金		15,000	
当期支出合計(B)			1,915,000
当期収支贈減額(A)-(B)			49,531
次期繰越正味財産額			49,531

このコーナーは、SNSに投稿された内容の一部分を拾い編集し紹介します。

向井 (2/24)

おはようございます！朝びわが泡を吐いてました！何か木の枝の皮みたいなのがまじってます！食欲も朝ごはんはペロリでうんこもいっぱいしてありますが形はありますが柔らかめで昨日猪の骨をバリバリやっていたので少し白ぼいかなって感じです。体調もよいみたいですね！

昨日朝から夕方までハヤトノモリで遊ばせていましたが3時半には家にいつものように綱に繋いでいました。なんでそれから17時間はたっております！様子見てみたいと思います。

土井下

実は、モンちゃんもこの前吐きました！先住犬も、春先によく吐いていたので、時期的なものなのかな？モンちゃん、全く元気にしております。

向井

そうなんですね！ありがとうございます！

土井下

詳しくは、全く分かりませんので、五味さんの意見も聞きたいです。

五味

おはようございます。体調に変化なく、元気なら大丈夫かな？食餌内容に、繊維質のある青い野菜を加えて見て下さい。

土井下

青い野菜ですね？そういえば、モンちゃん、散歩の時にやけに葉っぱを食べてます！やっぱりこの時期に青い野菜が身体に必要なんでしょうか？

五味

諸説あるが、自浄能力的な意味で、体内の掃除の様な役割があるか？

毛繕いした際の毛も吐き出しているようです。

土井下

なるほど…たしかに毛がいっぱい抜けてきてます！

五味

犬は異物を飲み込み、吐き出すという機能がある。

草食動物と違い、極端に味蕾が少ないから、飲み込む前に判断出来ないこともある。

向井

確かに毛が凄く抜けているので納得します！

五味

もう一つ、異物には寄生虫も対象ですから、春になったら注意して下さい。

検便。

土井下

寄生虫了解しました

吉岡さんより、緊急的な動画投稿がありました。(動画を、会誌用に編集しました)

五味

犬がイノシシを確認していましたねー!!

そして、どうしたらいいのか？分からない、、、

ナギラ

イノシシデカイ!

おコメがもし猪に向かわないようにならノンノとレタラに教えてもらえば行くようになるだろうけど肉を傷つけないように、リードして吠えるのを見せるかという手段かな?



始めて!イノシシに気が付いた瞬間!

対峙した瞬間↓



どうしよう?と、主の様子をチェックする。↓



イノシシに注視しつつ、周辺の臭いを点検しながら行動を決めかねている。↓



五味

いま何度か動画を見て、イノシシから離れての行動、これは転位行動ですねー!!明らかにイノシシを意

識した行動です。イノシシを解体する時が大事、、、それにしても大きいなあ~

ナギラ

なるほど～

解体の時に肉をわけてたり血を飲ませたり、獲物だと認識させる

五味

未練が残る程度です。ナギラさん、その点上手く教えたねー

ナギラ

五味さんにアドバイスもらってましたからね～未練が残る程度に…少しだけわかる…(略)

吉岡

理想は遠間から吠えてシシの注意を引いてくれる事なんですけど、今回は一度も吠えることがなかったですねー。

土井下

多分、吠えないと思うんです！獲物を追っかける時は、いつも無音で吠えた事ないですよ！存在を忍者の如く消す感じ？

吉岡

イノシシの目の前で、自分が吠えまくって教えると

か？

五味

私の推定です。飼い主が獲物から離れて携帯を操作しているから、「どうしよう?」と困って…転位行動。

犬がイノシシを見に行ってから動きです。この動画には面白い場面がある、地面に鼻を向け臭い取り、耳はイノシシに向けて行動しています。

吉岡

なるほどー。シシを気絶させたら、近くまで来るようになりました。

主のイノシシへの集中力が欠けていたのを感じたのかもしれないですね。

補足:5/12の投稿より

この時は、自分自身がイノシシから一歩引いてカメラ構えてましたからねー。

五味さんが言うように、オコはどうすればいいのかわからなかったんですねー。あれからは動画は撮らずに止め刺ししてるんで、イノシシが倒す相手だと分かってきたみたいです。吠えるようになってきました。

犬とのかくれんぼ

向井 3/2

おはようございます！

今日のびわはお留守番で、イキル単独でのかくれんぼをしに来ています！

少し面白かったので書きます！

イキルは初かくれんぼだったのですが、最初からなかなか離れてくれず、かくれるタイミングがなかったのです。それが、帰り道ようやく先々走り出したのでちょっと太い木に隠れてみました！

すると5分くらい戻ってこず、辛抱して待っていると走る足音が、そのまま横をもうダッシュで走って行き、そのまま通りすぎたのでまた木の反対側に隠れてみると、また横を通りすぎ、凄くそわそわして探してみました！

結局見つかったのです。しかし、見つけたあの瞬間

の表情は実に良かったです。笑

それから何度か繰り返し、4度目位から比較的に見つかるのが早くなってきて、行きすぎる事がなくなり、直ぐに見つかるようになりました！

多分、かなり意識が僕に変わった事に確信したので、走り去ろうとすると、僕は反対の逆方向に進む事を繰り返していたら、全く離れないようになりました。笑 今も山道で座ってるのですが、ずっと横にいます。笑

五味

おはようございます。

この学習はとても良い方法です。

ある程度、オトナになってから、更に高度な技を使うのです。例えば、木に登って様子見です。知らない場所が効果的です。



43号(9月10日発行)より、編集長を引き継ぎます。

JSRCの皆様へ---広島柳楽(ナギラ)倫です

新緑の季節になり羊の毛刈りも無事終わり、広島会員の数名と縄文柴犬も集まり、初夏のような暑い中で毛刈りを楽しむことができました

この度、編集長という大役を任されたわけですが、未経験者が一から編集に取り組んでいくことになりました。編集業務に関しましては、その大変さがまだまったく実感できていないので、あとで泣きながらの作業になることと思いますので何卒、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

先の理事会・総会に参加することができず、顔を合わせての打ち合わせもできぬままですので、皆様にもご迷惑をおかけして申し訳ありません。若輩者ですが、JSRCのために任されたことを広島のメンバーで協力してやっていきたいと思っております。

一昨年は「月刊シーバ」の取材もパスしてくださり、私の活動スタイル、コダマノモリというのをPRすることに繋がりました。そのコダマノモリでは、フリースクールをはじめカフェや、様々なイベントなどにも取り組んでおりますので、一般の広範な方たちに、JSRCの取り組みや縄文柴犬と触れ合ってもらえるフィールドとして盛り上がってきております。そして昨年からの計画している



↑コダマノモリ全景の一部

- ・手前:ヒツジのミーナ
- ・中間:移動式鶏小屋
- ・奥:手前・母屋・その奥ゲストハウスなど

←ヒツジの毛刈り

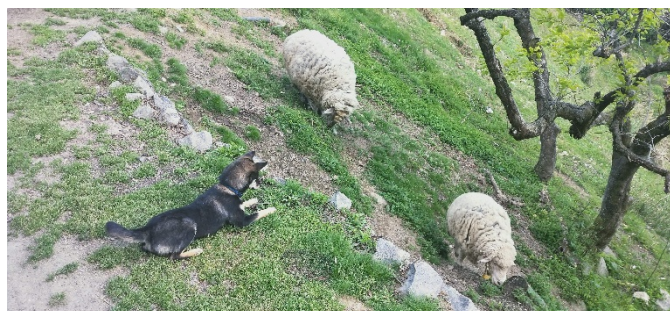
- ・手前右:筆者
- ・左手前:向井亮太、
- ・その隣:吉岡孝浩、
- ・その奥の奥:大名博子



↑手前:ヒツジ、奥ノノ、その奥レタラ

↓ノノと鶏

↓ヒツジを見守るオマ



動物取扱業の取得を目指し、ようやく犬舎をつくることができました。これから申請をだして6月より法的な認可を得て開始して行きたいという計画です。保存活動のための里親予約も徐々に活性化する方向となり、こちらでも大至急まとめたいと思いますので、皆様のご協力をどうかよろしくお願い致します。

2019.5.2

↑犬舎の土間(コンクリート)造り、仲間たちがボランティアで参加する。



縄文柴犬の雄